

小倉山通信

自立心と共感、創造力に満ちた角館中学校

平成30年4月9日(月) No.2

新平成30年度 第36期生 入学式を行いました

4月6日(金)、多くのご来賓と保護者の皆様方のご臨席をいただき、本校第36期生の入学式を行いました。

国歌斉唱の後に行われた新入生氏名点呼では、91人の新入生が元気いっぱいのお返事で、中学校入学の決意を示してくれました。

また、T.さんの歓迎の言葉は、新入生の不安な気持ちを和らげながら、具体的に何を頑張ればよいのかがよく伝わる内容でした。

これに答える、新入生代表の藤原洸介さんの誓いの言葉は、不安な気持ちを持ちながらも、新しい環境で精一杯頑張ろうという決意のみなざるものでした。

以下に、その内容を紹介します。併せて校長式辞も紹介いたします。

生徒代表歓迎の言葉

生徒代表 T.



窓から差し込む暖かい光から、春の訪れを感じられるようになりました。春のこの良き日に角館中学校に入学される第36期生、91名の皆さん、ご入学おめでとうございます。

入学式を迎えた皆さんの胸の中には、これから始まる中学校生活への期待がふくらむ反面、不安も少なくないと思います。しかし、新入生の皆さん、安心してください。私たち2・3年生が皆さんを全力でサポートしていきます。何か困ったことがあったらいつでも力になるので、焦らずにゆっくりと中学校生活に慣れていってください。2年前、私たち3年生も大きな制服に身を包み、皆さんと同じような気持ちで入学式に臨みました。私たちが先輩方から支えていただいたように、私たちも皆さんの力になることを約束します。

さて、今日から皆さんは角館中学校の生徒です。皆さんが3年間充実した中学校生活を送るために大切なことが3つあります。一つ目は「学業」です。中学校では、教科ごとに担任の先生が替わり、新しい出会いや発見があります。得意不得意はそれぞれあると思いますが、目標をもって授業に臨み、学ぶ喜びを感じながら力を付けていきましょう。

二つ目は「部活動」です。角館中学校には現在、運動部・文化部合わせて16の部

活動があります。どの部活動もそれぞれの目標を目指して活動しています。同じ志をもつ仲間とともに、3年間がんばっていきましょう。また、期間限定で駅伝部もあります。駅伝大会に向けての練習は、それぞれの部活動で鍛えた自分の力を試すよい機会になると思います。

三つ目は「生徒会活動」です。皆さんは今日から角館中学校生徒会の一員となります。生徒会活動を、より活発にしていけるためには、皆さん一人一人の力が不可欠です。責任をもって自分に与えられた役割を果たし、よりよい角中を私たちとともに創っていきましょう。

「学業」「部活動」「生徒会活動」を、思い通りにやり遂げることは容易ではありません。しかし、苦しくて諦めずに継続することで、きっと素晴らしい未来が待っていると思います。

角館中学校には、すすかけ祭や合唱コンクールなど、学級や全校が一丸となって取り組む楽しい行事がたくさんあります。今日から始まるこの角館中学校での三年間が、信じ合える仲間たちと学び合い、高め合える毎日になることをお祈りし、歓迎の言葉といたします。

新入生誓いの言葉

新入生代表 F.



町をおおいつくした雪も解け、暖かな春の訪れとともに、私たち新入生 91名は歴史と伝統あるこの角館中学校に入学することができました。本日はこのような素晴らしい入学式を行ってくださり、ありがとうございます。

私たちは今これから始まる中学校生活への期待と不安で胸がいっぱいです。新しい仲間、先輩方、先生方と出会い、たくさんの思い出ができると思うと、とてもうれしいです。その反面、「難しくなる勉強についていけるだろうか」「先輩や友だちと仲良くすることができるだろうか」といった不安と緊張もあります。しかし、小学校で学んできたことをもとに、粘り強く頑張りたいと思います。

体験入学では、先輩方の授業や部活動の様子を見学させていただきました。授業に向かう姿、真剣なまなざし、部活動での素早い行動、迫力ある練習を見て、「やはり

中学生はすごい」と感じました。私たちも先輩方に近づくことができるよう、一生懸命努力します。学校行事のすすかけ祭や合唱コンクールなどは、小学校で経験してきたことより盛大で自主的な行事だとお聞きしました。仲間と力を合わせる活動は、今からとても楽しみです。

これから過ごす三年間は、私たちが人として成長し、それぞれの夢をかなえるための大切な時期になると思います。今は慣れないことだらけですが、先輩方をお手本に、「やる気」と「根気」と「元気」を常に心にとどめ、自分の力を伸ばすことができるよう、どんなことにも挑戦していきたいと思っています。先生方、先輩の皆さん、ご指導よろしくお願いします。

今日のこの喜びと感動の気持ちを忘れずに、私たち新入生一同は、角中生としての自覚と誇りをもち、校訓である「立志」「清純」「協和」の精神で前進していくことをここに誓います。

校長式辞

仙北市議会議員、A. 様はじめ多数のご来賓の方々、保護者の皆様のご臨席を賜り、ここに平成三十年度、角館中学校第三十六期生入学式を挙行できますことを心より御礼申し上げます。

さて、91名の新入生の皆さん。入学おめでとうございます。

今、みなさんの胸には、いよいよ角館中学校の一年生になるんだというわくわくするような喜びと、中学生としてやっていけるかなあという少しの不安があるのかもしれない。

しかし、心配することはありません。みなさんはそれぞれの小学校で、最高学年としてリーダーシップを発揮し、学校を引っ張ってきました。考える力も、実行する力も、十分に身に付けて中学校に入学してきたのです。自信をもって今日から始まる中学校生活に臨んでください。

さて、皆さんが入学した角館中学校は、昭和22年の開校から数えて71年、昭和60年の統合角館中学校創設以来33年を経過する、歴史と伝統のある学校です。この間5400人を超える卒業生が巣立っており、先輩方は様々な分野の第一線で活躍しています。また、本校の校歌は、日本を代表する詩人である三好達治さんが、2年の歳月をかけて作詞された、全国的に見ても数少ない校歌であり、角館中学校の誇りの一つになっています。

私たちは、この歴史と伝統を受けつぎながら、みなさんと共に新しい角館中学校を創り上げていきたいと思っています。

新しい角館中学校を創っていくにあたって、私たちが、今、どんな学校を目指しているのかということについて、お話ししたいと思います。

私たちは、昨年度から「自立心と共感、創造力に満ちた角館中学校」を目指して様

々なことに取り組んでいます。

「自立心」という言葉には「自分の考えをしっかりとつ」という意味を込めています。さまざまな場面で、「あなたの考えはどうですか」と問われた時に、自分の頭でしっかりと考えて、胸を張って「私の考えは〇〇です。理由は〇〇だからです」と言えるようになってほしいと思います。その積み重ねが、新しいあなたを形作っていくのです。そして、私の考えがあって初めて、互いに学び合うことができます。どうか、これを意識して、一年間を過ごしてほしいと思います。

少し先の話になりますが、3年生になると自分の進路を自分の判断で選択していくこととなります。また、18歳になると選挙権を得て、国や地域のあり方について自分の考えをもって判断することになります。その時にも自立心が大事になってきます。皆さんの中に確かな自立心が育っていくように、私たちも応援していきます。

「共感」という言葉には、「心を伝え合って、互いを理解し、支え合う」という意味を込めています。

人は一人では生きていけません。自分の考えをしっかりと持ちながらも、他者の心を受けとめ、それに応えられる人になりましょう。そして、分かることへの共感や、仲間の気持ちへの共感をお互いに大切にして学校生活を送りましょう。

そして、創造力というのは、課題を解決する力です。私の課題、学級や学年の課題、社会の課題を前向きに解決して、前進していく力が創造力です。自立心と共感がその原動力になります。前進していく過程では、必ず新しい価値が生まれます。その新しく生まれる価値が、あなたの成長の証です。

この自立心と共感、そして創造力に満ちた角館中学校を目指していきましょう。

さて、保護者の皆様、これまで手塩にかけて育ててこられたお子様のご入学本当におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。本日から、皆様の大切なお子様をお預かりいたします。

本校教職員一同、心を一つにして、一人一人の生徒の豊かな成長のために、最善を尽くして取り組んでいくことをお約束いたします。そして、家庭と学校の連携を、より確かなものにし、子ども達の充実した中学校生活のために、ご協力くださるようお願いいたします。

終わりにになりましたが、ご来賓の各位におかれましては、年度はじめの御多忙の所、ご臨席を賜り誠にありがとうございました。壇上からではございますが、あらためて御礼申し上げます。今後ともわたくしたちの教育活動に対しまして特段のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、新入生に対しては、実り多い3年間を過ごすことができますよう、折にふれてご指導賜りますことをお願い申し上げます。